

高オレイン酸含有ダイズ DP-305423-1 と除草剤グリホサート耐性ダイズ MON-04032-6 を掛け合わせた品種に係る食品健康影響評価について

1. 経緯

遺伝子組換えダイズ「高オレイン酸含有ダイズ DP-305423-1 と除草剤グリホサート耐性ダイズ MON-04032-6 を掛け合わせた品種」については平成23年8月2日付けで遺伝子組換え食品の安全性審査の申請があったことから、食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

2. 評価依頼品種の概要

本品種は以下の表の遺伝子組換えダイズを伝統的な育種の手法を用いて掛け合わせたものである。

項 目	概 要	
品 種	高オレイン酸含有ダイズ DP-305423-1	除草剤グリホサート耐性ダイズ MON-04032-6
製品の概要	<i>gm-fad2-1</i> 遺伝子の導入によってジーンサイレンシングを誘導し、 ω -6 デサチュラーゼの発現を抑制することにより、種子中の総脂肪酸に占めるオレイン酸含有量を高めている。	改変 <i>cp4 epsps</i> 遺伝子の導入によって改変 CP4 EPSPS タンパク質が発現し、除草剤グリホサート耐性を示す。
宿 主	ダイズ (<i>Glycine max</i> L.)	
挿入遺伝子 (供与体)	<i>gm-fad2-1</i> 遺伝子 (ダイズ由来)	改変 <i>cp4 epsps</i> 遺伝子 (<i>Agrobacterium</i> sp. CP4 株由来)
選抜マーカー (供与体)	<i>gm-hra</i> 遺伝子 (ダイズ由来)	<i>GUS</i> 遺伝子 (<i>Escherichia coli</i> 由来)
新たに獲得された性質	高オレイン酸形質	除草剤グリホサート耐性
安全性審査を経た旨の公表 (官報告示日)	2010年6月30日	2001年3月30日

3. 利用目的および利用方法

本品種の食品としての利用目的や利用方法は、従来のダイズと相違はない。